

美術科学習指導略案（第1学年A組 男子9名、女子11名）

令和元年1月29日（水）4限

授業者：藤本 喜久

1 単元名：レタリング

2 単元：カウンター（ふところ）をそろえる

3 本時のねらい：『実技を通して、文字におけるカウンター（ふところ）のバランスを理解し（気づき）、描くことができる。』

（教科の観点）創造的な技能「感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付ける」

4 準備物：ワークシート

5 本時の学習過程（第3時／全5時間）

生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】（方法） ※手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・「女」と「心」の2文字の例を提示し、文字の線で囲まれた内側の空間に気付かせる。 <p>○この空間の取り方は美しいかな？ ○なぜバランスが悪く感じるのだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実例から空間のバランスを感じ取らせ、バランスが良い・悪い、の違いに気付かせる。

めあて：カウンター（ふところ）を美しく描こう。

<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの「力」と「色」のレタリングをする。 <p>○本時のめあてを意識して、ワークシートに取り組もう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに入る前に、明朝体とゴシック体の特徴を再度確認する。 ・直線部分を描くときは定規を使わせる。 ・ハネ、ハライ、ウロコの形を美しく描けるようにポイントを示す。 <p>※机間指導し、上手くいかない生徒には実際に手を入れ、指導する。</p>
---	--

山場：なるほど。文字の内側の空間を形として見ることができるとバランスが上手く取れるんだ。

よし、他の文字でもやってみよう。

<p><振り返り・まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくできた生徒の作品を取り上げ、具体的によい所を紹介する。 	<p>○感性や造形感覚などを働かせて表現できている【創造的な技能】（ワークシート）</p> <p><めあての評価>カウンター（ふところ）を美しく描こうとしている。</p>
--	---

<p><ねらいの評価>実技を通して、文字におけるカウンター（ふところ）のバランスを理解し（気づき）、描くことができる。</p>
